

1 展覧会事業実施計画

(1) 企画展

事業名	「善光寺御開帳記念 “いのり”のかたち」
事業主体等	主催:長野県、長野県信濃美術館、信濃毎日新聞社 共催:長野県教育委員会、(公財)信毎文化事業財団、信越放送 後援:長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社
開催日時	平成27年4月4日(土)～5月31日(日) (開催日数52日間)
開催場所	長野県信濃美術館 (第1展示室、第2展示室、小展示室)
入場料金	大人 1,300(1,200)円、大学生1,100(1,000)円、高校生以下無料 前売券 1,100円 ※前売券販売は4月3日(金)まで。 ※東山魁夷館との共通料金 大人1,600円、大学生1,200円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	信州の仏像について考える時に、善光寺及び善光寺信仰はもっとも重要なファクターとなる。 本展は、前回の「善光寺信仰—いのりのかたち展」(2009年)で中心とした上代の仏像に引き続き、平安時代後期から鎌倉時代の銘文や像内納入品を有する在銘像に焦点をあてる。善光寺信仰の広がりを示す善光寺仏師妙海の作例をはじめ、信濃における仏(ほとけ)の像(かたち)について考える契機としたい。また、東京芸術大学藪内研究室で制作された様々な資料によって、楽しみながら仏教美術に親しむ機会を設けたい。 なお、特別展示として仏教が伝来する以前の「いのりのかたち」であり、信州が誇る国宝「縄文のビーナス」、新たに国宝に指定された「仮面の女神」を展示し、日本彫刻史への理解を深めたい。
入場者見込数	30,000人 (有料入館者:22,500、無料入館者:7,500)
収支計画	共催負担金 2,620千円

事業名	「ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画」
事業主体等	主催:長野県、長野県信濃美術館、日本経済新聞社 共催:長野県教育委員会 後援:アメリカ大使館、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(財)ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、信濃毎日新聞社、JR東日本 長野支社 特別協力: SANSO LLC 協力:ドラッカー・インスティテュート/日本航空
開催日時	平成27年7月11日(土)～8月23日(日) (開館日数39日間)
開催場所	長野県信濃美術館 (第1展示室、第2展示室、小展示室)
入場料金	大人 800(700)円、大学生 600(500)円、高校生以下無料 ※東山魁夷館との共通料金 大人 1,000円、大学生 700円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	世界的に有名な経済学者、ピーター・F・ドラッカー(1909～2005)のコレクションによる展覧会。稀少な室町時代の水墨画、江戸時代の池大雅や浦上玉堂等の文人画、近年人気が高い伊藤若冲や長澤蘆雪等、その珠玉のコレクションを再調査し、初公開作品を含む約120点を里帰り展示する。 ※千葉市美術館、山口県立美術館との共同開催。
入場者見込数	10,600人 (有料入館者:8,480人、無料入館者:2,120人)
収支計画	(収入) 7,113千円 - (支出) 13,159千円 =△ 6,047千円

事業名	「没後50年“日本のルソー”横井弘三の世界展」
事業主体等	主催:長野県、長野県信濃美術館 共催:長野県教育委員会 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(財)ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、信濃毎日新聞社、JR東日本 長野支社
開催日時	平成27年9月12日(土)～11月8日(日)(開館日数50日間)
開催場所	長野県信濃美術館(第1展示室、第2展示室、小展示室)
入場料金	大人800(700)円、大学生600(500)円、高校生以下無料 ※東山魁夷館との共通料金大人1,000円、大学生700円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	飯田市生まれの横井弘三(1889～1965)は独学で油絵を学び、26才で二科会に初出品で入選、翌年には二科賞を受賞、“日本のアンリ・ルソー”と呼ばれ高い評価を受けた。しかし、関東大震災の被災児童のための絵画活動、日本初のアンデパンダン展開催など、横井の独創的な芸術活動は、既成画壇や戦時体制を強める社会に受け入れられず対立、画材の配給停止など不遇の立場となった。 昭和19年(1944)・55才の時、理解者の誘いで長野市に疎開。中央画壇と決別した横井は新しい芸術文化運動をめざし、さまざまな斬新的な試み始める。以来、晩年の約20年間、長野市を舞台に精力的に活動した。 そんな横井作品の愛好家は現在も多く、平成8年より長野県内の横井ファンが「横井弘三とオモチャン会」を結成し、作品の発掘と散逸防止・関係者の証言記録・作品の研究に努めてきた。このたび、「横井弘三とオモチャン会」が横井弘三の没後50周年を機に会を解散するにあたり、彼らが長年に渡り収集した情報を基礎に、当館と共同で新たな調査結果を加え、横井弘三の世界展を開催することとなりました。
入場者見込数	10,000人 (有料入館者:7,000人、無料入館者:3,000人)
収支計画	(収入) 6,096千円 - (支出) 9,916千円 =△ 3,822千円

事業名	「描かれた女たち—女性像にみるフォルム／現実／夢」
事業主体等	主催:長野県 長野県信濃美術館 TSBテレビ信州 共催:長野県教育委員会 後援:長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、公財:八十二文化財団、(財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、FM長野(予定)
開催日時	平成27年 11月13日(金)～12月20日(日)(開館日数32日間)
開催場所	長野県信濃美術館(第1展示室、第2展示室、小展示室)
入場料金	大人1,200(1,100)円、大学生1,000(900)円、高校生以下無料 ※東山魁夷館との共通料金 大人1,500円、大学生1,100円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	日本の絵画にあらわれる人体像は、明治以降大きく変わった。西洋美術と出会い、科学的に対象をとらえる見方と、陰影法等立体感を表す描法を学んだこと、また、理想的身体像であるヌードやその意味を知り、さらには絵画とはなにかという問題について西洋近代的な概念を受容したことなどがその理由としてあげられる。本展では、明治から現代までの、女性を描いた絵画に焦点を当て、それぞれの女性像から浮かび上がってくるものの多様性を考える。
入場者見込数	8,500人 (有料入館者:5,950人、無料入館者:2,550人)
収支計画	共催負担金 2,620千円

(2)コレクション展

事業名	「新収蔵作品展」第2展示室:生誕130年 小山周次と信州の水彩画」
事業主体等	(主催) 長野県、長野県信濃美術館
開催日時	平成27年6月6日(土)～7月5日(日)(開催日数26日間)
開催場所	長野県信濃美術館(小展示室、第1展示室、第2展示室)
入場料金	大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料 ※東山魁夷館との共通料金 大人800円、大学生400円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	平成26年度新規購入した菊池契月《花野》《庭の池》を「新収蔵作品展」として小展示室で展示。第2展示室では、水彩画家・小山周次の生誕130年を記念し、小山の作品と、丸山晚霞や石井柏亭、不破章など、信州の風景に魅せられた作家たちの水彩画を紹介する。
入場者見込数	コレクション展全体 2,200人 (有料入館者:1,650人、無料入館者:550人)
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

事業名	「戦後70年 信州の疎開作家たち 一県展の誕生」
事業主体等	長野県信濃美術館
開催日時	平成27年12月24日(木)～平成28年1月5日(火)(開催日数 8日間)
開催場所	長野県信濃美術館(小展示室、第1展示室、第2展示室)
入場料金	大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料 ※なにコレ? 展覧会と共通 ※東山魁夷館との共通料金 大人800円、大学生400円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	第二次世界大戦中、多くの芸術家が戦禍を逃れて信州に疎開した。それら多くの芸術家たちは、信州美術会の創立や、それに続く県展の立ち上げなど、戦後信州の美術・芸術の発展に大きく寄与した。本展では、有島生馬や石井柏亭、中川紀元、町田曲江や奥村土牛などの作品を、当館収蔵品から紹介する。
入場者見込数	コレクション展全体 2,200人 (有料入館者:1,650人、無料入館者:550人)
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

事業名	「美術館でおしゃべりしよっ！ー絵をみて話そう みんなで話そうー」
事業主体等	長野県信濃美術館
開催日時	平成28年1月28日(木)～平成28年2月9日(火)(開催日数12日間)
開催場所	長野県信濃美術館 (第1展示室、第2展示室)
入場料金	大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料 ※東山魁夷館との共通料金 大人800円、大学生400円 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	本展では収蔵作品を通して、友達同士、隣り合った人同士、思ったこと、感じたことを自由に語り合いながら、対話型鑑賞を楽しむ。
入場者見込数	コレクション展全体 2,200人 (有料入館者:1,650人、無料入館者:550人)
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

(3)ミニ企画展

事業名	「信州の書」
事業主体等	長野県信濃美術館
開催日時	平成27年8月30日(日)～9月6日(日)(開催日数7日間)
開催場所	長野県信濃美術館(小展示室)
入場料金	東山魁夷館常設展または本館収蔵品展観覧料と共通
開催趣旨・内容	信濃美術館収蔵品のなかから、書の作品を展示する。
入場者見込数	東山魁夷館常設展と同数
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

事業名	「信美スタッフおすすめ作品展」
事業主体等	長野県信濃美術館
開催日時	平成28年1月9日(土)～1月17日(日)、1月23日(土)～2月9日(火)(開催日数24日間)
開催場所	長野県信濃美術館(小展示室)
入場料金	東山魁夷館常設展観覧料と共通
開催趣旨・内容	美術館スタッフが、当館所蔵のおすすめ作品をコメント付きで紹介する。
入場者見込数	東山魁夷館常設展と同数
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

事業名	「新収蔵作品展」
事業主体等	長野県信濃美術館
開催日時	平成28年3月4日(金)～3月7日(月)、3月13日(日)～3月20日(日)(開催日数11日間)
開催場所	長野県信濃美術館(小展示室)
入場料金	東山魁夷館常設展観覧料と共通
開催趣旨・内容	近年新たに収蔵となった作品を展示する。
入場者見込数	東山魁夷館常設展と同数
収支計画	コレクション展全体(収入) 760千円 - (支出) 6,429千円 = △5,669千円

(4) 東山魁夷館

事業名	東山魁夷館 常設展示 年間テーマ「魁夷をよむ」
事業主体等	主催:長野県、長野県信濃美術館 共催:長野県教育委員会
開催日時	下記内容のとおり。
開催場所	長野県信濃美術館 東山魁夷館
入場料金	大人 500(400)円 大学生 300(200)円 高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	年間テーマは「魁夷をよむ」。東山が遺した随筆作品をベースに、それに呼応する絵画作品で展示を構成する。 第Ⅰ期 「唐招提寺への道」 平成27年4/9(木)～5/26(火) 第Ⅱ期 「白夜の旅」 平成27年5/28(木)～7/14(火) 第Ⅲ期 「旅の環」 平成27年9/3(木)～11/3(火) 第Ⅳ期 「馬車よ、ゆっくり走れードイツ・オーストリア紀行」 平成27年11/5(木)～平成28年1/12(火) 第Ⅴ期 「風景との対話」 平成28年1/14(木)～平成28年3/29(火)
入場者見込数	年間通算 66,600人 ※25周年記念展を除く (有料入館者:53,080人、無料入館者:13,520人)
収支計画	(収入) 24,576千円 - (支出) 22,167千円 = 2,409千円 ※25周年記念展を除く

事業名	香川県立東山魁夷せとうち美術館 開館10周年・ 長野県信濃美術館 東山魁夷館25周年記念展 日展三山 —東山魁夷 杉山寧 高山辰雄— 展
事業主体等	主催:長野県、長野県信濃美術館 共催:長野県教育委員会 後援:長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、 公財:八十二文化財団、(財)ながの観光コンベンションビューロー、 JR東日本 長野支社、FM長野(予定)
開催日時	平成27年7月18日(土)～9月1日(火) (開催日数41日間)
開催場所	長野県信濃美術館 東山魁夷館
入場料金	大人 600(500)円 大学生 400(300)円 高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	香川県立東山魁夷せとうち美術館 開館10周年、長野県信濃美術館 東山魁夷館25周年を記念して、三山 —東山魁夷 杉山寧 高山辰雄— 展を開催する。両館ではそれぞれ日本画家東山魁夷の顕彰に努めてきたが、今回ははじめてとなる共同企画により、日展を舞台に昭和の美術を華やかに彩り、人びとから親しみと尊敬の念をこめて「日展三山」と呼ばれた三巨匠に焦点をあて、今なお多くの人びとに支持される三山の美を探る。
入場者見込数	23400人 (有料:18,720 無料:4,680)
収支計画	(収入) 11,824千円 - (支出) 9,656千円 = 2,168千円

(5) 移動展

事業名	平成27年度 長野県信濃美術館移動展
事業主体等	主催: 長野県、長野県信濃美術館、信濃町、信濃町教育委員会、岡谷市、岡谷市教育委員会
開催日時	①信濃町地域交流施設(古間支館): 平成27年11月21日(土)～12月1日(火) ②市立岡谷美術考古館: 平成27年12月4日(金)～12月15日(火)
開催場所	①信濃町地域交流施設(古間支館) ②市立岡谷美術考古館
入場料金	大人300(200)円 大学生150(100)円 高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
開催趣旨・内容	40年に渡り、長野ゆかりの作家、または長野風景を中心に収集してきた長野県信濃美術館のコレクションを、各地開催地にご紹介する。 会期中、地域の皆さんや子どもたちに美術を身近に感じてもらうよう、作品を見ている人同士が作品について作者名や画題など作品の背景にとらわれることなく思ったことを話しながら鑑賞するという「対話型鑑賞」を実施する。 移動展開催地において対話型鑑賞研修会を実施し、美術館協力員として会期中のギャラリーツアー実施者の育成を行う。
入場者見込数	800人 (有料入館者: 400人、無料入館者: 400人)
収支計画	収入120千円 - 支出3,036千円 = △2,916千円

(6) ギャラリーコンサート

事業名	ギャラリーコンサート 東山魁夷館開館25周年記念 アントニオ・メネセス チェロ・リサイタル
事業主体等	主催: 長野県、長野県信濃美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団、オフィス・マユ
開催日時	平成27年6月3日(水) 19時開演
開催場所	長野県信濃美術館 東山魁夷館展示室
入場料金	5,000円
開催趣旨・内容	開館以来、東山魁夷館では、東山魁夷の生前の意思を受け継ぎ、展示室内で東山自身や作品にちなんだギャラリーコンサートを開催してきた。今回は開館25周年を記念して、世界的なチェリスト、アントニオ・メネセス氏のチェロ・リサイタルを開催する。
出演者の概要	アントニオ・メネセス(チェロ)、田村響(ピアノ)
入場者見込数	250人
収支計画	委託料 100,000円